

製品保証書

製品購入日から1年以内に取扱説明書に従い、正しくご使用された状態で故障が生じた場合
保証規定に基づき無料修理致します。
故障が発生した場合は本書と製品をお持ちいただき、お買い上げの販売店へ修理をご依頼下さい。

保証規定

- 1.保証対象部分 消耗品を除くザイグルグリル本体
- 2.保証期間内であっても次のような場合には有償修理となります。
 - 使用方法に誤りがあった場合の故障や損傷
 - 使用電源の異常による故障や損傷
 - 他の機器に起因する故障や損傷
 - メーカー技術者以外により、分解、修理、改造がされた場合の故障や損傷
 - 車両や船舶に搭載して使用された場合の損傷や故障
 - お買い上げ後の外的要因(落下・衝撃・圧力などの負荷、液体・薬品などの付着。水没など)や、運送上の故障や損傷
 - 火災、天変地異(地震、風水害、落雷など)塩害、ガス害、虫害、公害、異常電圧などによる故障や損傷
 - 本書の提示がない場合、本書に販売店印、販売日の記載が無い場合あるいは字句を書き換えられた場合
- 3.本製品を営業用(営業活動、非常識的な使用)として使用した場合には保証対象外となります。
- 4.保証修理は持込み修理となります、出張修理は行いません。保証修理以外にかかる費用(梱包、送料等)は、お客様のご負担となります。
- 5.保証修理に関して得た個人情報は保証修理に関する業務以外に使用することはございません。
- 6.贈答品や転居などで本書に記載されている販売店に修理を依頼出来ない場合には下記の お客様サポートセンターへご相談ください。
- 7.本書は日本国内においてのみ有効です。

■この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって本書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製 品 名	ザイグルグリル
モデル番号	NC-350 NC-351
購 入 日	年 月 日
販売店印 ※販売店発行 の 販売店名、販売 日 購入商品 名 の記 載 され た 保証用書類 の 添付でも可	

ZAiGLE 販売元 株式会社 **TUF** お客様サポートセンター

一般固定電話からは **0120-80-1961** その他、携帯/PHS/
IP/公衆電話などからは **0570-200-791**

受付時間 10:00～11:30 13:00～17:00(土日祝日、当社指定休業日を除く)
受付時間外のご相談はEメールにて承ります、ご返信は翌営業日以降となります。
E-mail custom@zaigle.co.jp

ザイグル公式ホームページ <http://zaigle.co.jp/>

ZAiGLE NC-350 NC-351 取扱説明書



本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品ご使用の前に必ずこの「取扱説明書」をお読みになり正しくご使用下さい。

はじめに

この度は、お買い上げいただき誠に有難うございます。本製品を安全にお使いいただくために、使用前に必ず本書をお読みいただき、取扱方法を十分理解した上でご使用下さい。なお、本書はいつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

製品仕様

製品名	ザイグルグリル
型式	NC-350 NC-351
定格	電圧AC100V 周波数50/60Hz 出力1100W
重量	約2.6Kg (プレート含む)
サイズ	本体 直径 約320mm(調整ダイヤル含む全長345mm) 高さ 約287~324mm プレート 直径 約324mm
主な材質	本体 プラスチック (PA66/PP) ステンレス プレート アルミニウム (表面フッ素樹脂加工)
温度調整装置	サーモスタット

本製品は家庭用です。業務用途には使用しないで下さい。

セット内容	
ザイグルグリル本体×1	プレート×1式(2分割) カバー×1
簡単調理マニュアル×1	取扱説明書(保証書付)×1(本書です)

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みになってから、正しくお使い下さい。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。

マークが表す意味



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を表します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負うことが想定される内容を表します。



このようなマークは行為を禁止（してはいけないこと）を表します。



このようなマークは行為を強制（しなくてはならないこと）したり指示を表します。



警告



禁止

子供や補助が必要な人だけで使わせたり、子供や幼児の手が届くところへ置かない。
※事故の原因
この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図してません。



禁止

天ぷら、フライなど容器に油を入れて加熱する調理をしない。
※火災の原因



禁止

フードとプレートの間に身体や衣服や燃えやすいものなどを入れない。
※ヤケド・火災の原因



分解禁止

改造はしない、また、修理技術者以外のひとは、分解したり修理しない。
※火災・感電・ケガの原因
電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために製造業者若しくはその代理店または同等の有資格者によって行われなければなりません。



水ぬれ禁止

水をかけたり、水につけたりしない。
丸洗いはしない。
※ショート・感電のおそれ



ぬれ手禁止

ぬれた手で差し込みプラグをコンセントに差したり抜いたりしない。
※感電やケガをするおそれ



禁止

調理以外に使用しない。
(炭起こし等の禁止)
※事故や火災の原因



必ず実施

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、しっかり拭き取る。
※火災の原因



禁止

交流100V以外では使用しない。
※火災・感電の原因



プラグを抜く

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
※火災・ケガの原因



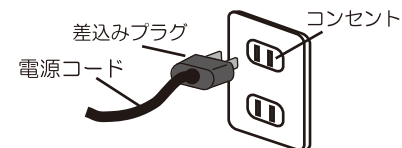
禁止

コードや差し込みプラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいコンセントで使用しない。
※感電・ショート・発火の原因



禁止

電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、はさみこんだり、加工しない。
※火災・感電・故障の原因



※イラストと現品は形状が異なる場合があります



禁止

使用中ヒータを直視し続けない。
※目を害するおそれ



禁止

燃えやすいものの近くや、燃えやすい敷物の上、壁や家具の近く、熱や光に弱い材質のものの上では使用しない。
※火災・発火の原因
※テーブル等の損傷のおそれ



ビニール製などの熱に弱いテーブルクロスの上



たたみ・じゅうたんなどの上



カーテンなどの近く



禁止

製品のそばにスプレー缶やガスボンベやガスライター等、可燃性ガスや溶剤等引火、爆発の危険性があるものを置かない。またこれらのものの近くで使用しないこと。
※火災やケガの原因



ペットボトル 密閉容器

近くに置かない！
近くで使わない！



必ず実施

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
※感電・ショート・発火の原因



火気厳禁

ストーブなどの火気や熱を発する物（ザイグルも含む）のそばにおかない。
※火災・故障の原因



必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う。
※他の器具と併用すると、コンセントが異常加熱し発火することがあります。



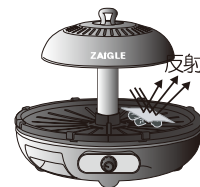
禁止

不安定な場所、本体を水平に置くことができない場所で使用しない。
※やけど・けが・火災のおそれ



禁止

ラップやアルミホイルは使用しない。
※発火・火災・やけどのおそれ

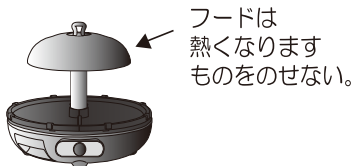


アルミホイルは反射により思わぬ方向を加熱するので使用禁止



禁止

フードをおおうようにタオルや布などをかけて使用しない。
※火災・故障の原因



フードは熱くなりますものをのせない。



禁止

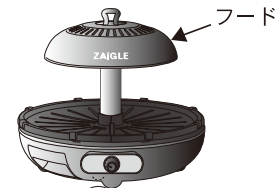
日本酒・焼酎・ワイン・ブランデー・ウイスキー等のアルコール類を加熱したり多量に食品に含ませて加熱したり、調理中に調理物や製品に振りかけたりしないこと。
※火災・やけど・故障の原因



禁止

フード（ヒーターガード）と調理物が接触している状態や調理物が焦げたり油はねが多量に発生するフード高さでの調理禁止。
※火災・故障の原因

とくに油分が多く使われている食品や水分が少ない食品、加熱により乾いてしまう食品はフードに近い状態で強く加熱すると焦げやすく発煙・発火する場合があります。加熱の際には、焦げないようにフードと調理物の間隔を十分にあけること。



必ず実施

大きな食材はフードを上げて調理するか切るなどして小さくする。

※万一発煙・発火した場合はすぐにヒーターを消灯させ調理物を製品よりとり出してください、また調理中は絶対に製品のそばから離れないようにしてください。



必ず実施

故障時や・異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、差込みプラグをコンセントから抜く
※そのまま使用すると、発煙・発火・感電・ケガに至るおそれがあります。

（異常・故障の例）

●製品にひび・割れ・がたつき・ゆりみがある ●焦げ臭い匂いがする
●火花が見えた ●ビリビリと電気を感じる ●コードを動かすと通電したりしなかったりする ●電源コードに傷、ひび割れがある など

このような場合は、すぐに差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、またはお客様サポートセンターへ修理を依頼する。

⚠ 注意



接触禁止

プレート・フードは表面が非常に熱くなるので、使用後冷えるまでは触らない。
※やけどのおそれ



禁止

缶詰や瓶詰めなど密閉容器を加熱しない。
※破裂や過熱によるヤケド・ケガ・故障の原因



必ず実施

電源コードを抜く際には、差込みプラグを持って抜く
※故障・感電のおそれ



禁止

必要以上の加熱はしない。
※火災のおそれ



必ず実施

油受け皿をきちんと奥までいれて使用する
※本体内、外部に食材からでた油分や水分がもれます



必ず実施

使用中は、製品から目を離さない。
※ケガや思わぬ事故をまねくおそれ



禁止

使用中や使用後しばらく熱いときは
本体を移動したり油受け皿を取り出
さない。
※ヤケドやケガのおそれ



接触禁止

本体が冷えている場合でも、遮熱板と
ヒーターガード内部には触らない。
※故障、ケガの原因



禁止

お手入れには、アルコールやシンナー
ベンジンなどアルカリ性や酸性の
洗剤を使用しない。
※故障の原因



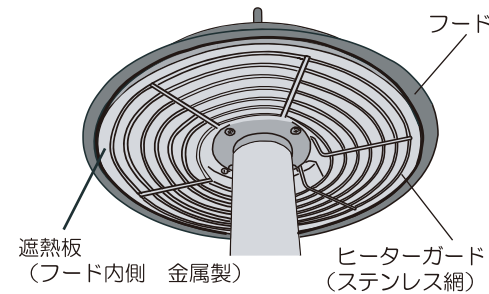
禁止

金属製のへらなどの硬い調理具や
鋭利な調理具、金属タワシなどで
プレートをごすらない。
※プレート表面加工の傷、はがれ
の原因



禁止

油受け皿に内容物を2/3以上ため
ない。
※汚損のおそれ



各部のなまえ

①高さ調整つまみ

②フード

③ヒーター

④プレート



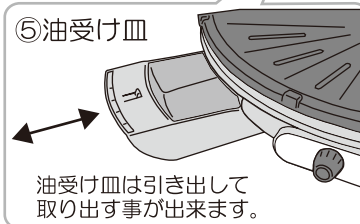
プレートは本体から
取り外す事ができます。



必ず付属のプレートを
使用すること。
※故障・事故の原因

本体

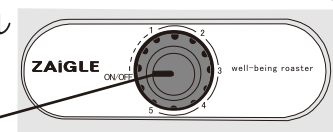
⑤油受け皿



油受け皿は引き出して
取り出す事が出来ます。

⑥調整ダイヤル

しるし



各部の説明

①高さ調整つまみ

フードの高さを調整する時につかむ部分です。

②フード

上下に動かすことが出来ます。※熱くなるので「高さ調整つまみ」で操作します。

③ヒーター

調理をするための熱を発生する部分です。

ヒーターガードは変色している部分がありますが、製造過程の熱で生じるものでご使用には問題はありません

④プレート

調理物を置く部分です、回転させる事が出来ます。※使用中は熱くなるので触らない。

⑤油受け皿

プレートから流れた油分や水分などがたまる場所です。

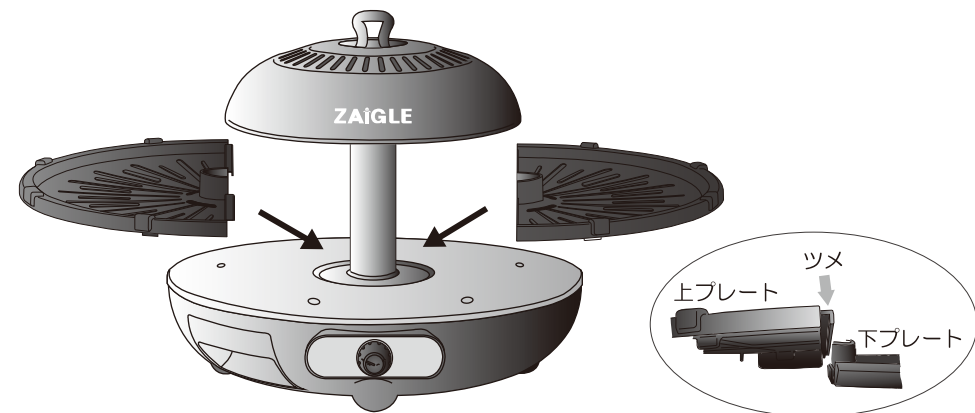
⑥調整ダイヤル

ヒーターがサーモスタット（温度調整器）により点灯・消灯する温度を調整します。

使い方

プレート取付方法

- 【1】下プレートを先にステンレス台にのせて
上プレートのツメを下プレートに引っ掛ける。
- 【2】プレートが左右に回転出来るか確認する。



※プレートが離れたりしないか、中心がずれていないか確認する。

※プレートは動きをよくするために、調理に支障がない範囲で本体との間に隙間を設けてあります。

※プレート裏面は凹凸が多いので手を傷つけないようご注意ください。



※初めてのご使用前はプレートを食器用洗剤で洗浄して下さい。

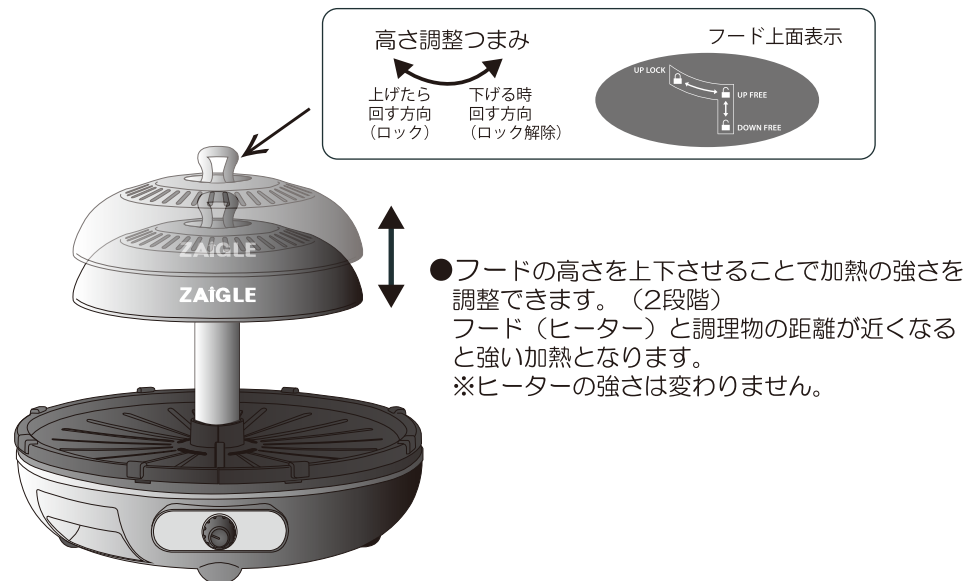
操作方法

- ① **準備1** 油受け皿を奥まで差し込み、プレートをしっかり取り付けます。
- ② **準備2** 調整ダイヤルを左（反時計回り）に止まるまで回し、差し込みプラグをコンセントにしっかり差し込みます。
- ③ **予熱（予熱なしの場合は④へ）**
高さ調整つまみでフードを低くして**調整ダイヤルを5**まで回し3～5分プレートを予熱します。
- ④ **調理準備** ダイヤルを止まるまで戻し、一旦ヒーターを消灯させてからプレートに調理物を置きます。
- ⑤ **調理** フードの高さを調整し、**調整ダイヤルを5**まで回しヒーターを点灯させ調理を始めます。必要に応じ調整ダイヤルの設定やフードの高さを変更します。
- ⑥ **終了** 調理が終わったら、調整ダイヤルを左（反時計回り）に止まるまで回したあと、コンセントから差し込みプラグを抜きます。



使用後は必ずコンセントから差し込みプラグを抜いてください。
※プラグがコンセントに差し込まれた状態は、ヒーターが点灯する場合があります。

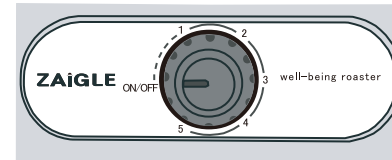
フード高さの説明



【フードの操作方法】

フードは必ず高さ調整つまみで操作し、フードを引き上げた後はフードを右回転させてロックして下さい。フードを下ろすときは左回転させてから、手を離さずにゆっくりと下げて下さい。

調整ダイヤルの説明



- ザイグルはヒーターが点灯・消灯を繰り返し本体温度(プレート温度)を調整します。調整ダイヤルを回転させると温度の設定が変わります。
- ダイヤルを、数字が大きい方に回すと設定温度が上がり点灯している時間が長くなります。数字が小さい方に回すと設定温度が下がり点灯している時間が短くなります。

※点灯中のヒーターの出力は一定です。ヒーターの強さを変更するものではありません。

調整ダイヤルの設定例 ※使用開始時はダイヤル5推奨

ダイヤル数字

- | | | |
|-----|--------------|---------------------------|
| 1～2 | 料理の保温に | ※状況によっては点灯を開始しない場合があります。 |
| 3～4 | ゆっくり加熱したい場合に | |
| 5 | 通常使用はここ | ※使用状況によっては過熱防止のため点滅いたします。 |

※調整ダイヤルの数字は目安です。設定とフードの高さは適宜調整して下さい。
※サーモスタート（温度調整装置）は本体内部温度によって作動するため、プレート温度に対して瞬時に反応はいたしません。

お手入れと保管

お手入れの手順

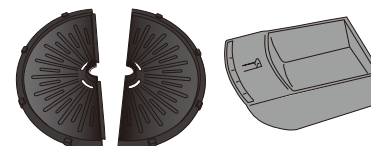
差し込みプラグをコンセントから抜く

プレートと高さ調整アダプターが冷めたら外して洗う

油受け皿を引き抜いて洗う

本体は、固く絞った濡れ布巾等で拭く

プレート取り外し前に「油受け皿」を引き抜いてしまうとプレートの上の脂分などが流れ落ち機器内部や周囲を汚損するおそれがあります



○水洗い出来ます



×水洗い不可



水ぬれ禁止

本体に水をかけたり
水に浸けたりしない。
※感電・故障の原因

△ 注意 お手入れについての注意事項



お手入れ前には必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。
※ヤケド・ケガのおそれ

必ず実施



プレートは金属製のタワシ研磨剤入りタワシやヘラなど硬いものや先が尖ったものでこすらない、研磨剤や研磨剤入りの洗剤を使用しない。
※表面のフッ素加工に傷やはがれが生じ性能低下や故障の原因

禁止



油受け皿に内容物が入ったまま本体を移動させたり、傾けたりしない。
※油受け皿内の内容物がこぼれたり製品内に入り込み、周囲の汚損や製品の故障・汚損のおそれ

禁止



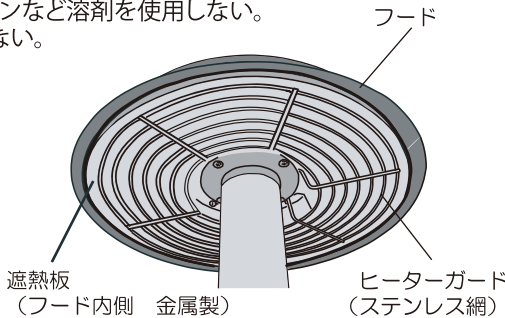
お手入れにはアルコールやベンジンなど溶剤を使用しない。
酸性やアルカリ性の洗剤を使用しない。
※故障や破損の原因

禁止



ヒーター下の金網内部に細い棒や尖ったものを差し込まない。
※故障の原因

禁止



フードの内側(遮熱板)はさわらない。
※手などを切ったり、ケガのおそれがあります。
フード内部の掃除は使用に行わないでください。
使用に不具合がある場合はザイグルお客様サポートセンターへご連絡下さい。

禁止

△ 警告 専用力バーについての注意事項



専用力バーは耐熱製ではありません。使用の際は必ず本体が冷えていることを確認して下さい。また電源コードがコンセントに差し込まれた状態では絶対にカバーを使用しないで下さい。
※火災・故障の原因

禁止

困ったときは

まず下記をご確認下さい。それでも問題が解決しない場合や下記以外の症状や故障を感じた場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店またはお客様サポートセンターへご相談下さい。

ヒーターが点灯しない	差し込みプラグが正しくコンセントに入っているか確認する。 ご家庭のブレーカーが遮断されていないか確認する。 ダイヤルを5に合わせて点灯するか確認する。 温度調整中や外気温によっては、ダイヤルの位置により点灯しない場合があります。 ダイヤルが5で本体が冷めても点灯しない場合は故障の可能性があります。すぐにお客様サポートセンターへご連絡ください。
加熱されるのが遅く感じる	予熱(5分)をして下さい。 ダイヤル5で使用してみてください。 プレートの中心付近は温度が高くなります。 なるべくプレートの中心に近いところに調理物を置いてください。 15A以上のコンセントを単独で使ってください。 複数の機器が使用されている場合ヒーターが暗くなり性能が発揮できない場合があります。 ※危険なのでコンセントの定格をお守り下さい。 調理物（特に肉）がヒーターの光により赤みを帯びて見え、仕上がっていないと勘違いしてしまう場合があります。 一時的にヒーターを消灯させると焼き色を確認しやすくなります。
ヒーターから煙の様なものが出たり臭いがする	ご購入後初期の使用ではヒーターが安定するまでこのような現象が起こる事がありますがしばらくするとおさまります。 ヒーターランプ周辺のほこりや湿気により発生する場合があります。この場合数分でおさまります。
差し込みプラグが熱くなる	差し込みがゆるいコンセントを使用すると発熱が起きます。 プラグが熱くなると感じたならそのコンセントでの使用を中止してください。 過度に発熱した差し込みプラグは点検・交換が必要です販売店またはお客様サポートセンターへお問い合わせください。